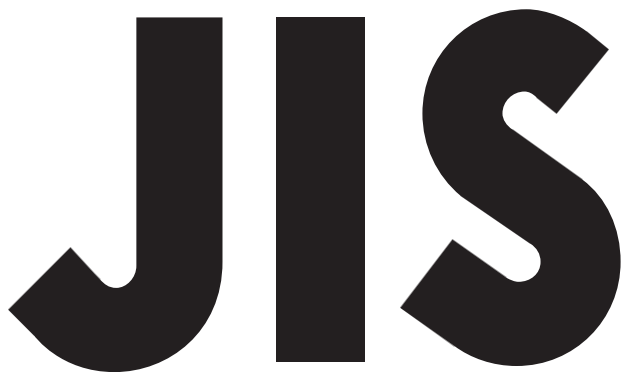




情報技術—IT アセットマネジメント— 第 6 部：HWID タグ

JIS X 0164-6 : 2026
(ISO/IEC 19770-6 : 2024)
(JSA)

令和 8 年 8 月 20 日 制定

認定産業標準作成機関 作成・審議

(日本規格協会 発行)

一般財団法人日本規格協会 情報分野産業標準作成委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	渡 邊 創	国立研究開発法人産業技術総合研究所
(委員)	相 蘭 敏 子	株式会社日立製作所
	青 木 誠	独立行政法人情報処理推進機構
	安 形 輝	亜細亜大学
	島 健 夫	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会
	寺 田 真 敏	東京電機大学
	中 上 直 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	仲 谷 文 雄	一般社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	永 沼 美 保	日本電気株式会社
	服 部 恵 二	総務省国際戦略局

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 8.8.20
担 当 部 署：経済産業省イノベーション・環境局 国際電気標準課
(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1)

官 報 掲 載 日：令和 8.8.20
認定産業標準作成機関：一般財団法人日本規格協会
(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti)

素 案 作 成 者：一般社団法人情報処理学会
(〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館)

審 議 委 員 会：情報分野産業標準作成委員会 (委員長 渡邊 創)

この規格についての意見又は質問は、上記認定産業標準作成機関又は素案作成者にご連絡ください。
なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに見直しが行われ速やかに確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
0.1 概要	1
0.2 この規格の目的	1
1 適用範囲	3
2 引用規格	3
3 用語、定義及び略語	4
3.1 用語及び定義	4
3.2 略語	5
4 適合性	5
4.1 HWID タグの適合	5
4.2 適合宣言	6
4.3 プラットフォームの適合	6
5 相互運用性	6
5.1 概要及び主要な設計上の決定	6
5.2 ハードウェアの識別子<hwidId>	6
5.3 使用例の概要	7
5.4 HWID タイプ	7
5.5 追加 HWID タイプ	10
5.6 HWID の主要な設計上の決定	11
5.7 識別子の一意性	12
5.8 相互運用性設計の考慮事項	13
6 HWID プロセスの実装	14
6.1 一般	14
6.2 プラットフォームの要求事項及び手引	14
6.3 HWID 作成者	16
6.4 HWID の信頼性	17
6.5 HWID の真正性	17
6.6 HWID ファイル名	18
6.7 HWID 保管	18
6.8 HWID 回復	18
6.9 アセットマネジメントプラットフォームに関する HWID の考慮事項	19
7 ハードウェア識別子ファイルデータの仕様	19
7.1 一般	19
7.2 HWID タグデータの最小要件	19
7.3 推奨される HWID タグデータ値	20

	ページ
7.4 XML 及び JSON の命名規則	20
7.5 言語機能	21
7.6 要素構造	21
7.7 データ定義	22
7.8 属性値の定義	31
附属書 A (参考) XML スキーマの定義 (XSD)	37
附属書 B (参考) UML 及び XML 文書	39
附属書 C (参考) サンプル HWID	40
参考文献	50
解 説	51

まえがき

この規格は、産業標準化法第 14 条第 1 項の規定に基づき、認定産業標準作成機関である一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準の案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

白 紙

情報技術—IT アセットマネジメント—

第 6 部：HWID タグ

Information technology—IT asset management— Part 6: Hardware identification tag

序文

この規格は、2024 年に第 1 版として発行された ISO/IEC 19770-6 を基に、技術的内容及び構成を変更することなく作成した日本産業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある参考事項は、対応国際規格にはない事項である。

0.1 概要

IT アセットマネジメントのための JIS X 0164 規格群は、ソフトウェア、ハードウェア、及び関連する IT アセットを管理するためのプロセス及びテクノロジーの両方を対象としている。今日の世界のほとんど全ての活動にとって IT は欠かせない要素である。そのため、JIS X 0164 規格群は、全ての IT 機能に密接に統合されている。ハードウェア識別 (HWID) タグは、財務又はコンプライアンスに焦点を当てた、ITAM プロセスの適用範囲外の他の管理機能を支援する能力をもつ。技術の見方からは、情報構造の ITAM 規格は、ソフトウェア及びハードウェアの管理データの相互運用性と、ソフトウェアの管理とハードウェアの認証とにおけるより効果的なセキュリティなど、多くの関連する便益の基礎となるものを提供する。情報構造のための ITAM 規格は、ソフトウェア認証の改善、並びにハードウェア自動検出及び軽減のような、IT 機能の大幅な自動化を容易にする。

0.2 この規格の目的

この規格は、HWID タグの日本産業規格である。HWID タグは、ハードウェア製品に関するハードウェア識別情報、及び／又は複数のハードウェア製品のシステム構成を含む標準化されたデータ構造であり、新しい自動化された管理機能をサポートする。HWID タグ構造で提供される製品情報は、多くの場合 XML データファイルで提供されるが、管理されるコンピュータデバイスによっては、同じ HWID タグ製品情報に他の方法でアクセスできる場合もある。

HWID タグは、HWID タグ製作者（例えば、ハードウェアの開発及び配布を行うハードウェア製造業者）によって作成される。HWID タグデータは、HWID タグ利用者によって利用される。例えば、様々な目的のために物理デバイス又は仮想デバイスから情報を収集するインベントリツール又はサービスである。

この規格は、在庫管理、構成管理、ハードウェアセキュリティ又はロジスティクスを目的として、HWID タグの使用及びそれらのタグを利用するアプリケーションを通じて、IT プロセスの自動化を促進することを目的に開発された。この規格には、人間の理解を容易にする情報（機種及びバージョン名のような）が含まれているが、専門家又は汎用ツールに組み込まれている自動化機能を使用せずに、HWID タグの作成、